



いいこいの森



中庭のカボス 10月撮影

緊急時にも安心できる医療を目指して

当院は横浜市の地域中核病院・災害拠点病院であり、救命救急センターも備えております。ICU10床を含む計40床の入院病床と救急外来で構成され、救急車で搬送される方や医療機関からの紹介患者さまなど、重篤な患者さまにも対応できるように24時間365日救急医療体制を整えていますし、災害発生時には傷病者の受け入れや被災地への医療救護チーム(DMAT)・横浜救急医療チーム(YMAT)の派遣も行います。救命救急センターは信頼できる医療の提供のみではなく、緊急時でも患者さまやご家族に安心して頂ける様に丁寧に対応することの出来る“頼りになる病院”であることを常に意識しております。今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副院長
救命救急センター長 柁井 良裕

Contents

- 皮膚科のご紹介 2ページ
- 薬剤部・健康管理部よりお知らせ 3ページ
- 連携登録医のご紹介(武岡クリニック)／新規連携登録医のご紹介 4ページ



赤ら顔のレーザー治療（自費） はじめました。



皮膚科 部長
村上 富美子

みなさん、コロナが5類に移行してからの生活はいかがですか？
マスクを外せる機会が増えましたが、顔の赤みやシミが気になってマスク生活を続けている方はいらっしゃいませんか？
マスクを外すために本当はナチュラルメイクが好きなのにシミや、赤ら顔カバーするためにファンデーションが厚めになってませんか？

今日は不本意な生活をされている方々から解放されるのに少しばかり役立つ「赤ら顔」についてお話をします。

いわゆる赤ら顔は「酒さ」が多くを占めます。

酒さはおもに中高年の顔面に潮紅、持続性紅斑、毛細血管拡張を主徴として生じる慢性炎症性疾患です。原因は不明です。遺伝的背景に加え、末梢血管拡張に関する機能異常、毛包虫や抗菌ペプチドの関与などがいわれています。

臨床的には4つに分類されます（下図参照）。

第1度酒さ（紅斑性酒さ）：顔面正中を中心に鼻尖、頬、額、下顎に一過性の潮紅、火照り感を繰り返した後持続性となり、毛細血管拡張や脂性光沢を伴います。

第2度酒さ（酒さ性痤瘡）：上記に痤瘡に類似する毛孔一致性の丘疹、膿疱が加わります。

第3度酒さ（鼻瘤）：鼻に密集融合性の丘疹、膿疱、局面を形成し、過形成により凹凸不整な腫瘤状になりマス。毛孔は拡大し、ミカンの皮様になります。腫瘤状になっているためレーザーの適応はなく、形成的な手術が適応となります。

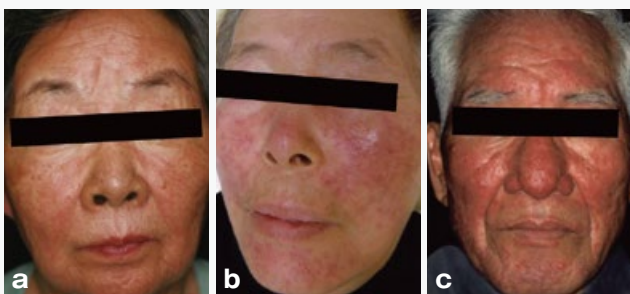
第4度酒さ（眼型酒さ）：酒さ性角膜炎、結膜炎、虹彩炎、強膜炎などの眼合併症を伴います。

現在行われている治療保険適応のあるロゼックスゲルの外用、ざ瘡治療に用いられるミノサイクリンやビブラマイシンの内服、桂枝茯苓丸、清上防風湯などの漢方の内服が主に行われています。効果が表れるまで数か月かかります。生活の注意としては刺激、寒暖の変化、紫外線、石鹼や洗浄剤など局所悪化因子を避けること。効果が出て最後の一息まで到達しない、少しでも早く治したい方には血管系に効果のあるレーザー治療がおすすめです。第1度、第2度の酒さがレーザーの適応です。2度の場合はロゼックスゲルの外用とミノサイクリンやビブラマイシンの内服の併用で炎症を抑えてからのレーザーが有効です。

当院では血管腫の治療としてV-Beamによる長期の治療実績があります。この機械が酒さの治療にも有効です。今までは保険適応のある疾患のみV-beamを使用していましたが、この度、自費診療も行えるようになりました。

初診は保険診療で行います。レーザーの適応かどうかの確認、照射可能な場合は照射範囲と費用の確認およびレーザーの説明とレーザー照射日の予約をします。受診方法は通常外来と同じです。

お悩み解決の一助となればと思います。



下図1 赤ら顔4分類

a：第1度酒さ。顔面の潮紅が目立つ。

b：第2度酒さ。顔面の潮紅、毛細血管拡張、紅色丘疹が目立つ。

c：第3度酒さ。顔面の潮紅、膿疱が目立ち、鼻が腫瘤状を呈する。



下図2

皮膚良性血管病変治療用
レーザー装置Vbeam

項目	税込
診察料 (税抜) 5,000円	5,500円
Vビームレーザー照射療法 顔全体 (税抜) 21,000円+エムラクリーム600円	23,760円
Vビームレーザー照射療法 片側頬又は額 (税抜) 7,000円+エムラクリーム400円	8,140円
Vビームレーザー照射療法 その他 1cm ² (税抜) 1,000円+エムラクリーム200円	1,320円
Vビームレーザー照射療法 その他 2cm ² (税抜) 2,000円+エムラクリーム200円	2,420円
Vビームレーザー照射療法 その他 3cm ² (税抜) 3,000円+エムラクリーム200円	3,520円
Vビームレーザー照射療法 その他 4cm ² (税抜) 4,000円+エムラクリーム200円	4,620円
Vビームレーザー照射療法 その他 5cm ² (税抜) 5,000円+エムラクリーム200円	5,720円

料金表

※詳細はお問合せください

病院・薬局の薬剤師が連携して抗がん剤治療をサポートします

現在、多くの抗がん剤治療は通院で行われており、患者さまが自宅で過ごす時間のサポートが重要となっています。当薬剤部では、近隣の神奈川県立がんセンターや横浜旭中央総合病院とともに、旭区・瀬谷区の保険薬局薬剤師と連携する「薬薬連携」を行うことで、広く地域に根ざした医療における抗がん剤治療をサポートしています。日頃から病院と薬局で患者さまに関する情報を共有し、さらに定期的に行っている薬薬連携研修会を通して知識の共有や顔が見える関係を築くことで連携を強めています。薬剤師が地域連携を行うことで、患者さまがいつでもどこでも相談しやすい環境を整え、安心安全な抗がん剤治療の継続を目指しています。



薬薬連携担当者（前列は、化学療法担当）



健康管理部より

健康管理部では、各種健康診断・人間ドックをはじめ、各種予防接種を行い、疾病の早期発見・予防に努めています。

人間ドックは2023年10月オプションで選択できる項目を増やす事でより利用しやすくなりました。必要なオプションのみを選択して、各個人に合わせたセットコースにて利用する事が可能です。是非、ご利用ください。

対応可能な予防接種として、新たに、「带状疱疹」「肺炎球菌」のワクチンが追加されました。こちらも是非、ご利用ください。

健康診断では、一般健康診断・雇入時健康診断、また、企業健診なども検査項目変更など柔軟に対応しております。

健康診断、人間ドックで精密検査や治療が必要となった場合は、当院診療科での受診も可能です。また、院外の専門医などのご紹介も可能です。

担当医と禁煙サポーターによるサポートが受けられる「禁煙外来」も行っております。

健康管理部のページはこちら



||||| 連携登録医のご紹介 |||||

医療法人社団九成会 **武岡クリニック**

当院は地域のかかりつけ医となるべく平成24年に開院しました。それまでは聖マリアンナ医科大学総合診療内科で診断学を中心とした内科診療および実地小児科診療に従事しておりました。現在も聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院総合診療内科外来を月に2回担当しているため、地域と西部病院をつなぐ存在になれたらと考えております。かかりつけがない方や体のことを相談したい方はお気軽にご相談ください。発熱対応外来やワクチンも行っているため、詳しくはホームページをご覧ください。



武岡裕文 院長



ア ク セ ス：相鉄線「瀬谷駅南口」より徒歩3分
住 所：横浜市瀬谷区瀬谷5-2-1
電 話 番 号：045-300-5012
ホームページ：https://www.takeokacl.com
休 診 日：第2・第4土曜、日曜・祝日

新規連携登録医のご紹介

- 医社)公仁会 成和クリニック：https://www.fureai-g.or.jp/seiwa-clinic (大和市西鶴間5-3488-7)
- 湘南レディースクリニック：https://shonanlc.com (藤沢市鶴沼花沢町1-12-6F)
- 川崎泌尿器科クリニック：http://www.on.rim.or.jp/~chihirok (横浜市旭区本村町101-3-3F)
- 子安脳神経外科クリニック：https://www.koyasuclinic.jp (横浜市旭区二俣川1-6-1-2F)
- あざみ野だんのうえ眼科・内科：https://ad-clinic.jp (横浜市青葉区あざみ野2-4-2-2階)

当院は地域医療支援病院です



地域医療支援病院とは、地域の病院・診療所の医師から、より詳しい検査や、専門的な医療が必要である紹介された患者さまに対して、適切な医療の提供、24時間体制による救急医療の提供、地域の医療機関と連携をとり当院の医療機器等の共同利用、地域の医療従事者の質向上を図るための研修を行うなど、地域医療の中核を担う目的で平成9年4月に医療法で制度化されました。当院では、病院全体または診療科毎で登録医を中心とした近隣医療機関と連携会・症例検討会を行い医療従事者の資質の向上を図るとともに緊密な関係を築いており、紹介患者さまを積極的に受入れております。治療が一段落し症状が安定した際は、かかりつけ医にご紹介させていただきます。また、三次救急医療機関として、救急患者の受け入れも行っております。医療機関向けに脳卒中・骨折・消化器病・循環器病のホットラインも常設しております。これまで以上に医療の質とサービス向上に努め、皆さまに信頼される病院として地域医療に貢献してまいります。



聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
St. Marianna University Yokohama Seibu Hospital

地域医療支援病院

日本医療機能評価機構認定病院

JCEP(卒後臨床研修評価機構)認定病院



〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町1197-1

電話 045-366-1111(代表)

FAX 045-366-1172

URL https://seibu.marianna-u.ac.jp/

